

就寝中、体が熱くなってくると陰部の内部がヒリヒリとしてきます。昼間でも体が熱くなると時々症状が出ます。前立腺がんで一昨年秋からホルモン療法をし、抗がん剤も服用しています。このヒリヒリの症状は副作用と関係あるのでしょうか。(76歳、男性)

前立腺がん



酒井伊織医師

前立腺がんは、男性特有の臓器である前立腺に発生します。男性ホルモンの働きによって増殖、進行しますが、一般的には

ホルモン療法副作用でほてり

の働きを抑えることで増殖を抑制する方法で、根治治療ではないものの非常に強力が効果的です。ほとんどの場合、腹部への皮下注射と内服薬がセットになります。

性ホルモンの低下により自律神経が乱れて出現し、更年期障害の症状として現れることもあります。陰部のヒリヒリがほてりと同時に出現するということがあります。ホットフラッシュに伴う症状なのかもしれませんが、典型的な症状ではありません。念のため

す。治療方法を選択する際は主治医とよく相談してください。刺激物の摂取を控えたり、症状が出た際に首元を冷やしたりすると症状が軽くなることもあるので試してみてください。
(兵庫真泌尿器科医会、酒井伊織 明石市、王子クリニック)
◇第1、3、4日曜に掲載します。

比較のおとなしい性質で、早期に診断、治療すれば根治を目指しやすいがんだと言えます。

治療法は、根治治療とされる

手術、放射線療法のほか、ホルモン療法を含む薬物療法などさまざまです。

ホルモン療法は男性ホルモン

治療で抗がん剤を内服することはないので、服用している抗がん剤というのはホルモン療法的内服薬ではないかと推測します。

め、細菌感染症など他の原因がないか確かめておく方がいいと思います。

ホルモン療法の副作用の一つに、顔や上半身にほてり、発汗が起る「ホットフラッシュ」と呼ばれるものがあります。男

や抗不安薬が有効な場合があります。またホルモン療法の注射薬の中止によって症状が軽くなることもあります。進行具合によっては危険な場合もありま